

第4回検査センター杯 ソフトボール大会報告

後編

去る5月14日、第4回検査センター杯ソフトボール大会が開催されました。

前日の雨の影響であいにくのグラウンドコンディションでしたが、順調に勝ち進んだ「山崎病院チーム」が準優勝だった昨年の雪辱を果たし、見事に優勝杯を獲得されました。

そこで今回は、山崎病院ソフトボール部村上監督の優勝インタビューをお届けいたします。

優勝インタビュー

- まずは2回目の挑戦での初優勝おめでとうございます。決勝までの4試合を簡単に振り返っていただけますか？
- 予選リーグは序盤から優位に進めることができ、比較的楽に戦えました。しかし、決勝トーナメントの2試合は、いずれも苦手とする女性投手であり、少し固くなることもありましたが、大下(ファースト)がムードメーカーとしてメンバーを盛り上げたことで、普段どおりの力を発揮することができました。
- なかでも一番印象に残った試合は？
- やはり決勝戦ですね。1点差でリードしていたところ、5回に味方のエラーで同点にされました。でも何とか最小失点で抑えることができました。『ピンチの後はチャンスあり』の言葉どおり、最終回到サヨナラホームラン(村上)が飛び出し、しびれるような試合をすることができました。

	1回	2回	3回	4回	5回	TOTAL
検査センター	0	1	0	0	1	2
山崎病院	0	1	0	1	1X	3

- ずばり、今回優勝できた勝因はなんでしょうか？
- チーム全体の雰囲気非常に良かったことですかね…。練習のときもそうですが、職場においても普段から元気な声を出すようにし、まとまりのあるチームづくりを心掛けています。
- 山崎病院さんは投打のバランスが整っていますが、普段はどのような練習をされていますか？
- 毎週火曜日に1時間から2時間程度練習しています。主にトスバッティングに時間を割くことで、出来るだけフライを打たないよう注意しています。

- 🏆 創部当初の思い出などがあれば聞かせてくださいませんか？
- 🏆 創部は平成 7 年になります。最初、地体協に数名が参加していたのですが、次第に人数が増え始め、平成 14 年に正式にチームを発足させました。現在 15 名で活動しています。平成 16 年の県医師会大会で初めてブロック優勝を果たし、現在に至っています。
- 🏆 検査センター杯では、昨年が準優勝、そして今回は優勝ということで、今後「打倒！山崎病院！」を合言葉にさらにマークがきつくなると思いますが？
- 🏆 検査センター杯終了後も気を緩めることなく、翌々日の火曜日からさっそく練習を始めています。ソフトボールはやはりピッチャーの出来如何でゲームの流れが決まってきますので、石根(ピッチャー)を柱に、さらに強いチームに作り上げていきたいです。
- 🏆 なるほど。直ぐに練習を開始するところはさすがですね。今回は色々とお話を聞かせていただきありがとうございます。組み合わせにもよりますが、公式戦での対戦は 9 月の県医師会大会になりますね。お互いに優勝目指してがんばりましょう。
- お忙しい中、本日はどうもありがとうございました。



▲優勝した山崎病院チーム(前列向かって左下:村上監督)



▲優勝杯を手に喜ぶ山崎病院チーム(前列中央:山崎先生)

《取材を終えて》

今回、山崎病院に訪問させていただき気づいたことは、職員の皆さんが笑顔で元気にあいきつしている姿がとても印象的だったことです。

村上監督が話されていた「病院のなかでの普段のコミュニケーションが、まとまりのあるチームづくりには欠かせない」という言葉が、病院内にも浸透しているように感じました。

(広報委員:中村)